

2005JP 大会競技上の注意事項

1 競技要領と競技方法

本大会は、日本身体障害者水泳連盟 JP 大会水泳競技要領及び本注意事項を適用する。

JP 大会水泳競技要領は IPC (国際パラリンピック委員会) 水泳競技規則に準拠し、一部独自の内容を加えている。この JP 大会水泳競技要領にないところは IPC 水泳競技規則及び日本水泳連盟競技規則による。

競技方法は、タイムレース決勝とする。複数のクラスの競技が同時に行われた記録の処理はクラス毎とする。

スタートは 1 回のみとし、やり直しは行わない。他の選手がフォールスタートを行った場合でも、出発合図員の号砲があればスタートをすること。

2 スタートリスト

今大会はあらかじめプログラムに選手の名前やコースなどが記載される方式ではなく、国際で行われているスタートリスト方式を採用する。スタートリストは大会当日の朝に、前日のクラス分け結果を反映したものを登録団体に配布し、2 階総合受付とプール入り口に掲示する。

競技は原則として、女子・男子の順にクラス番号順に行う。

3 招集

招集は、競技予定時刻の 20 分前に行う。尚、棄権の場合は、必ず早目に招集員に届けること。

4 スタート方法

スタート台からスタートする選手は、審判長の長い笛の合図でスタート台に上り、直ちに足の指を台の前縁にかける。次に出発合図員の「ヨーイ」の声でスタート姿勢をとり静止し、ピストルの音・光でスタートする。(スタート台横からのスタートもこれに準ず。)

背泳ぎ以外で水中スタートをする選手は、審判長の短い笛の合図で水中に入り、長い笛の合図でスタート用グリップを持つか、もてない場合は身体の一部を壁につけること。次に出発合図員の「ヨーイ」の声でスタート姿勢をとり静止し、ピストルの音・光でスタートする。

聴覚障害の選手は、審判長の長い笛の合図でスタート台に上り、足の指を台の前縁にかけた後、直ちに出发合図員を見ること。

5 ゴール後は.....

全選手が泳ぎ終わるまで自分のコースで待機するか、スタート台横から退水すること。全選手が泳ぎ終わった後、1～4 コースの選手は 1 コース側のプールサイドから、5～8 コースの選手は 8 コース側のプールサイドから退水すること。

6 視覚障害の選手は.....

クラス 11 (B1) の選手は、見えない黒のゴーグルを着用すること。競技終了後、プールサイドで確認する。

クラス 11 (B1) の選手のターンとゴールの際、コーチが選手にプールの端に近づいたことを知らせなければならない、クラス 12 (B2) の選手には知らせることができる。但し、音声による指示はコースの逸脱など特別な場合以外は許されない。競技役員は指示を行わない。

指示用の「合図棒」は各自で用意すること。

7 手話通訳者

手話通訳者は、招集と表彰場所に配置する。

8 表彰

表彰は、各レ・ス終了後、クラスごと3位入賞者までスタート台側で行う。ただし、参加申込者が2名までの場合は1位のみ、3名の場合は2位までメダルを授与する。

記録証は全参加選手に授与する。記録証は2階総合受付で渡す。

9 記録速報の掲示

競技記録の速報は、2階総合受付に掲示する。

10 練習について

プール(50mプール・8コース)は大会準備終了後より10時00分まで使用出来る。水深は1.4mである。

練習用プール(飛込みプール25m)は、開会式及び閉会式を除き常時利用できるが、飛込台は設置しない。

11 ドーピング

本大会はドーピング検査を実施する。

ドーピングに違反した場合は、記録は認められず、メダルは返却しなければならない。さらに、2年間の出場停止となる。

12 クラス分け

主催者から通知のあった選手は8月13日のクラス分けを受けなければならない。クラス分けには競技中の観察も含まれる。クラス分けの過程において、水中の安全確保ができない場合、クラス確定はされず、暫定クラスとなり、後日、再度クラス分けを受けなければならない。

クラス分けにおいて協力的でない場合、水中の泳力テストで持てる能力を発揮しない場合は「クラス分け不能」と認定される。この場合は競技に参加することはできない。また、競技中の観察の結果、「クラス分け不能」と認定された場合は、記録は認められず、メダルは返却しなければならない。

その他、競技中の観察の結果、クラス変更となった場合は、暫定的な日本独自のルールとして、順位および記録は変更前のクラスで決定し表彰する。ただし、公式記録の整理では新しいクラスで認定する。

13 個人情報の取り扱い

本大会の記録、クラス分けの結果、氏名、付与されたクラス、特記事項などは協会及び連盟ホームページなどに掲載する。

14 その他

昼休みはない。競技は連続して行なう。

会場における事故等については、応急処置のみとし、その他の責任は負わない。

室温は30度位、水温28.5度位である。